

ふらぐ

この世界には
ロマンがある

マンガ
最終回
直前!

筋肉パンパ
は
好かれたい!!

ついに

お父さん、
子どもも立ちする!?

LINE

宗像市市民活動・NPOセンター
LINE公式アカウントはじめました
友だち募集中!



- ▶ひととまちとの交差点Vol. 17
- ▶ふらぐニュース
- ▶読者の声コーナー

目からの
うろこ

猫と人の共生を目指す
「てくてくさくらねこ」の会

筋肉パーパーは好きだった!!

最近パパは
楽しそうだ

A man with a balding head and a mustache, wearing a green vest over a light blue shirt, is looking down at a board game. The board game has a grid with various pieces and a small green figure. He has a speech bubble that says "テンパイの
ふたつで
おりがとう" (Tenpai no futatsu de ori ga tō).

※VOL 36 参照

お父さん、子ども立ちする!?

おかわり
しよ

少し何か
変わった…



ママ…いつも横顔。
顔が見れる日は…？

おー、
行ってらっ
しゃーい



さくらちゃんと
ユリックス図書館
行ってくるー！

久原さん
ゴミ袋準備
いこだけ
受付の
ゴミです
おもたて

パパ少し
変わったよね

Xちゃん
ニンじほ

...
いってきます

葉山さん!

NPOセンター インフォメーション

地域活動体験プログラム “ロープレむなかた2022” 開催します!

「Local×Play=ロープレ」は、地域で行われているさまざまな団体の活動を体感できるプログラムで、今年で7年目を迎えます。プログラムを通して“宗像”という地域の魅力を再発見してみませんか?



プログラムの
詳細はこちら



11月開催の プログラムを紹介

11月12日(土)

お味噌を作ってみよう

こどもたちにお母さんの味を伝えませんか?

- ◎団体名:母と子のサロン つむぎ
- ◎内 容:伝統のムロブタこうじなど、
素材にこだわった味噌を手作ります。

11月13日(日)

ショートテニスで健康づくり

ボールが弾む、心が通う

- ◎団体名:四塚クラブ
- ◎内 容:ショートテニスを通じた交流を
お楽しみください。

11月26日(土)

声かけで介護が楽に。

現役介護職員が教える在宅介護の
お悩み相談室

- ◎団体名:ココカイベント企画室
- ◎内 容:「これって認知症?」「こんな時
どうすればいいの?」にお答えします。

問合せ先

宗像市 市民活動・NPOセンター
[運営]一般社団法人 PENTAGON
TEL:0940-36-0311(平日9:00~17:00)
MAIL:info@pentagon67.com





公民館で高齢者の居場所づくり



子どもたちと竹筒で水鉄砲づくり



二丁目小学校の冬休みイベント

Vol.17

ひとまち交差点

宗像のまちで秘かに活動する魅力的な人。その「ひと」が「まち」と出会い、交わるきっかけを、ふらぐ編集部のアンドウが取材してきました。



ふらぐ編集部
アンドウ

市民活動団体や自治会など、幅広く活動して

いる片岡さんが地域と関わり続ける理由とは？

その想いにせまります。

アンドウ：2007年に北九州市から宗像市の

公園通りへ移住されたそうですね。

片岡さん：小学2年生からずっと北九州市に住んでいたのですが、引越すことになって。宗像に住む友人から宗像のことをいろいろ教えてもらう中で、公園通りにある「宗像コモン」のことを知りました。当時は若い世代も多く子どもたちもたくさん外で遊んでいて、夫婦でその雰囲気が入り移住を決めました。その後、定年退職する間に病気で大きな手術を受けたんです。以前から友人と「定年になったら社会貢献したいよね」という話はしていたのですが、病気を機にその想いはより強くなっていました。

アンドウ：片岡さんが地域と関わるようになったのはなぜでしょうか？

片岡さん：友人から「観光ボランティアガイドの募集があるから受けてみたら」と声をかけてもらい受講しました。歴史が好きなので、海の道むななかた館の地域学芸員にもなつて活動をスタートしたのですが、翌年に公園通りの自治会長にならなかつたことがきっかけで、それまで仕事人間で地域の役員なんてやったこともないし、自分の中にはない選択肢でした。でも「これも社会貢献のひとつなのかもしれない。まあなんとかなるやろ

う」と思って引き受けたんです。

アンドウ：市民活動団体「二丁目小学校」ができたきっかけを教えてください。

片岡さん：2018年、私のところに地域住民の方（現在の二丁目小学校メンバー）から、公民館を活用した子どもたちの居場所づくりをしたいという相談がきました。以前から子どもや高齢者の居場所づくりの話は出ていたので、その企画に賛同し、最初は自治会の代表として関わり、その後一緒に団体を立ち上げました。自治会だけではなかなか進まなかった話が、二丁目小学校のメンバーがいっぱい踏み出してくれたおかげで実現し、今も活動は続いています。

アンドウ：8年間自治会長を務められて、片岡さん自身何か変化はありましたか？

片岡さん：自治会長になって地域と関わり始めると、今まで知らなかった地域のことを知るわけですよ。子どもたちのこと、高齢者のこと。そうしたら動いていないとなかなか落ち着かないというかね、じっとしていられなくなる。他の団体との情報交換の場に顔を出させてもらったり、一緒に活動しているメンバーに相談に行ったり。いつもアンテナをたてて情報を集めて、「これは今度のイベントで使えるな」とか「この活動とこの活動を組み合わせられないかな」とか考えてます。その時間もまた面白いんですよ。

アンドウ：今後どのような活動をしていきたい

と考えていますか？

片岡さん：公園通りも一人暮らしの高齢者が増えてきているので、居場所づくりの必要性を強く感じています。そんな高齢者と地域の子どもたちをつないで、世代間交流ができればいいなと。子どもが集まる場に呼んで、見守るだけであってほしい。二丁目小学校のメンバーからも「子どもたちがいろいろなことを体験してほしい」という想いが溢れています。だから、地域のみならずがやりたいと考えていることの中で、私ができるところはカバーしていきたい。これまでの活動の中で学んできたことや人との出会いを活かして、新しいつながりをつくる役割をしていけたらと思っています。

“あなたにとっての交差点は、どこですか？”

“自治会長になって地域と関わり、地域のことを知ったこと”

片岡 俊輔さん
二丁目小学校 代表



定年退職後、宗像歴史観光ボランティアの会など地域の活動を始める。公園通りの自治会長を務めた後、池野地区コミュニティ運営協議会の副会長に就任。市民活動団体「二丁目小学校」の代表も務めるなど、地域の子どもや高齢者の居場所づくりに尽力する。





第28 づぶめ

日々子育て奮闘中のしぎょうが
地域で取り組む活動を取材してきました。

殺処分ゼロを目指して取り組む 地域猫活動

身近な地域で野良猫や捨てられている子猫を見かけたことはあるだろうか。糞尿や鳴き声が迷惑、可哀想、かわいい、など飼い主のいない猫に対する人々の感情はさまざま。猫は繁殖力がとても強い動物で、年に3度、1回の出産で3〜8匹を産むことができ、生まれた子猫は半年で妊娠可能となる。1989年には30万頭を超えていた猫の殺処分数は近年減少傾向にあるが、2021年には未だ2万頭が殺処分されている。7割が生まれて間もない子猫であることから、避妊去勢手術を施すことが殺処分される猫を減らす最善策といわれている。さらに、近年では各地で「地域猫活動」も行われるようになってきた。

「地域猫」は、特定の飼い主がおらず屋外で生活するという点では野良猫と同じだが、地域にその居住を認め、特定の餌場とトイレを設置して地域が面倒を見る点で、扱いが大きく異なる。地域猫に避妊去勢手術を施した後はその印として、オス猫は右耳、メス猫は左耳の先をカットする。その耳が桜の花びらのように見えることから地域猫は「さくらねこ」とも呼ばれる。地域

猫と人の共生を目指す 「てくてくさくらねこ」の会

増えすぎた野良猫と手入れされていない地域の遊歩道。不幸な野良猫をこれ以上増やさないため、また地域の憩いの場を取り戻すために立ち上がり、地域猫活動を含めた環境美化活動に取り組む「てくてくさくらねこ」の会を取材した。



ふらぐ編集部
しぎょう

猫活動とは、屋外で生活する猫の繁殖を防いで地域で二代限りの生を見守り、猫と人の共生を目指す活動である。宗像でその活動に取り組むつの市民活動団体を紹介する。

「てくてくさくらねこ」の会

「てくてくさくらねこ」の会は、宗像市須恵とくりえいとのでてく遊歩道で地域猫活動を行う市民活動団体だ。関係機関との連絡調整は石原さん、猫の捕獲と手術は岩本さん、地域住民への情報発信と対応は長年地域で商いをしてきた永山さん、保護した猫の譲渡活動を前田さんが、それぞれ強みを活かしながら担当している。毎日朝と夕方、猫たちに餌を与えたり遊歩道の掃除や花壇の整備などを行ったりする人を含め、10人ほどで活動している。猫たちの性格や遊歩道の雰囲気は今ではすっかり穏やかになったが、つい1、2年前まで、猫と地域住民間のトラブルが絶えない地域だった。

石原さんは遊歩道の野良猫の姿に心を痛めていた地域住民の一人。環境の改善を行政に任せきりにするのは解決が難しいと感じ、地域猫活動を試みようとする環境課に相談をした。「地域猫活動と二口に言ってもやることはたくさんあるので、せめて2、3人仲間を集めて役割分担

しない」と言われ、仲間集めを始めました。猫に餌を与えにくる人たちに声をかけるのですが、みんな逃げるようにして断られて、なかなか仲間は見つかりませんでした」と石原さんは当時を振り返る。

ちょうどその頃、偶然にも遊歩道の猫たちを何とかしたいと行動を起こし始めた人がもう一人いた。岩本さんだ。「てくてく遊歩道を訪れたのはたまたまでした。そこでお腹を空かせた母猫が子猫たちを引き連れて足にまとわりついてきて、その姿がもう、衝撃的でした。2ヶ月悩んだ末、やはり放っておけないと岩本さんは行動を開始。行政と協力することで公益社団法人どうぶつ基金の無料避妊去勢手術が利用できることを確認し、遊歩道に赴いて地域住民や遊歩道沿いの畑の所有者に猫に関する被害や苦情について独自で調査を行った。情報を集め、「自分が猫を捕まえて手術させるから協力してほしい」と環境課を説得した。

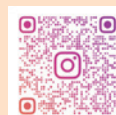
ほどなくして岩本さんの存在は石原さんに伝わり、仲間に加わった永山さんと3人で面会。目的が一致していることがわかり、手を取り合うことになった。当初21匹いた遊歩道の野良猫は1年でほぼ手術を終え、地域猫となった。団体は今

フロフイール 「てくてくさくらねこ」の会

宗像市須恵にあるてくてく遊歩道の野良猫をこれ以上増やさないため、また荒れてしまっていた遊歩道を気持ちの良い環境に保つために、志の似た仲間が集まってできた市民活動団体。2021年7月設立。地域猫活動の他、保護猫の譲渡活動も行う。



note
てくてくさくらねこの会



Instagram
譲渡担当：前田さん

ゆうちょ 口座名義：「てくてくさくらねこ」の会 店番：七四八
銀行 記号番号：17490 口座番号：9617085

問合せ先 daryl515@yahoo.co.jp
(担当：石原さん)



左から、永山さんと石原さん



左から、岩本さんと前田さん

年、宗像市の「人づくりでまちづくり事業補助金」の交付を受け、地域猫管理と遊歩道の花壇づくりなどの環境美化活動に取り組んでいる。

地域猫活動に留まらない 保護猫の譲渡活動

団体が地域猫活動と同時に進めているのが保護猫の譲渡活動だ。手術が間に合わず産まれてしまった子猫や置き去りにされた子猫、怪我や病気で屋外で生活するのが難しい猫を預かって、家猫修行を施し、家族の一員として引き取ってもらえるようになるまで面倒を見ている。団体では活動を始めて1年でてくてく遊歩道からは15匹、その他の地域から預かった24匹を里親に届けた。

譲渡を担当しているのは自身が飼っている猫を含め現在21匹を世話する前田さん。「保護して里親を探す」と言ってしまうえば簡単だが、実際は想像以上に負担の大きい分野である。保護した猫は健康診断をはじめ、血液検査、寄生虫駆除、怪我の治療など、初期費用だけで数万円かかることもある。今後団体へ猫の引き取りを希望する人に費用の一部を負担してもらうことを検討している。「団体として活動することで救われる猫の数が増えて、とても良いことなのですが、私個人の負担も確実に増えました。活動を続けていくためにも、費用負担についてご理解いただけたら」と前田さんは話す。

これから

団体はてくてく遊歩道に限らず、相談が寄せられた市内の野良猫たちを毎月みやま市まで手術に連れて行っており、活動を始めてから

今年の10月までの間に164匹の猫の手術を施した。しかし、どうぶつ基金の無料手術を受けられるのも今年度まで。次年度からはできるだけ費用を抑えて手術ができるように、団体は環境課と協力して画策しているところだ。

石原さんは、「活動を発信するようになって、予想以上にたくさんの方が集まって来ていることに驚いています。動物が好きだけど飼えない人、ペットロスを癒したい人、力になりたいと寄付をくださる人。また、飼い主のいない猫たちに手を尽くしている人が実はたくさんいたことにも気づきました。これからは行政や地域、地域猫活動をしている他の団体など、協力できるところと手を取り合って、みんなで地域の猫を見守っていきたいです」と話す。



てくてく遊歩道。希望の鐘の前



餌をもらうさくらねこたち



さくらねこ。右耳カットなので男の子

Furagu News

サークル

CIRCL むなかた井戸端会議 Vol.5

「CIRCL」は、テーマに応じたゲストの話をもとに、少人数単位の車座で意見交換を重ねていく現代版井戸端会議です。

テーマ Web3.0時代における地域のあり方

開催日 2022年12月14日(水) 18:30~20:30

場所 メイトム宗像 結工房

対象 まちづくりに興味・関心のある方

定員 先着20人

参加費 無 料



申込みはこちら



読者の声コーナー

みなさんから寄せられたさまざまな質問に、ふらみ先生が答えます!



「ふらぐ」ってサンリブにも置いてある? 僕はネットで見よるけんいいっちゃけど、草刈のおばあちゃんに持って行って見せてあげたいんよね。



質問者(たけまる)

え! たけまるくんはネットから見てくれているの? ありがとう! 「ふらぐ」は宗像市内のサンリブやレガネット、駅などでも手に取ることができるよ。ここからチェックしてみてね。



ふらぐ設置場所一覧ページへ



ふらみ先生



みなさんからの声を募集しています。ふらみ先生が質問に答えてくれるかも?

【ふらぐの由来】「ふらぐ」は旗印。この旗の下に集い、繋がろう! という意味が込められています。

📱 / 🌐 / 📄 PENTAGON 宗像 🔍 <https://pentagon67.com>

ふらぐバックナンバーはこちらから!

